

- 4月 27日 (金) 総会
- 5月 きょうちくとう第57号発行
- 6月 7日 (木) 全国指定都市地域女性団体
- 8日 (金) 連絡協議会研究集会
- 7月 6日 (金) 市女連 県外研修
- 8月 6日 (月) 嵐の中の母子像供養
献灯式
- 9月 きょうちくとう第58号発行
- 10月 DV被害者支援 寄付の実施
- 10月 26日 (金) 市女連 女性大会
- 12月 きょうちくとう第59号発行
- 1月 25日 (金) 市女連 新年互礼会
- 2月 なでしこ募金年度集計
- 2月 24日 (日) 市女連文化教室発表会
- 3月 15日 (金) 3委員会報告会
- きょうちくとう第60号発行

ひろしま菓子博2013開催

「世界に届け！笑顔をむすぶお菓子のちから」を開催テーマとして第26回全国菓子大博覧会が広島で開催されます。

期間は、平成25年4月19日(金)～5月12日(日)の24日間。場所は、旧広島市民球場跡地、広島県立総合体育館とその周辺です。大正10年に現在の原爆ドームで開催されてから、92年ぶりの広島での開催となります。

チケットも市女連で取り扱っております。ぜひお早めに各女性会を通して、市女連でチケットをお求めください。

「なでしこ募金」の報告とお礼

毎年、各地域で集めていただいておりますDV被害者支援募金が今年度もたくさん集まりました。総合計は、261,351円でした。ご協力ありがとうございました。市女連では、毎年10月にDV被害者支援シュルターへ寄付しております。

今後は、これが「基金」として広島市全体を巻き込んだ募金活動になればと考えております。今後ともご協力よろしくお願いいたします。

★退任のお知らせ

今年度をもって、長年市女連副会長、安佐南区長を務められた大畠キヌコ会長が、退任されました。お疲れ様でした。

編集後記

今回で何回か関わっていましたが、年度初め等の各会長挨拶や各地区活動報告などの原稿が沢山有り、皆様には原稿の確認等、大変お世話になりました。ご協力ありがとうございました。

安佐北区女性会

イクちゃんベビーに参加して 中区中島女性会 津賀 静枝



ママの授乳が終わると、今度はパパの出番 手際よくおむつ替え、そっと見ていると子育ての頃の自分を重ね合せ懐かしく思う、広島フラワーフェスティバルの「イクちゃんベビールーム」の一コマ。

今年で6年目になり、平和大通りに面したホテルのご厚意とボランティアの協力による設置、利用者にアンケートをお願いすると異語同音「助かります、屋外に子供を連れだすことの不便・不安が解消されとてもうれしい、感謝しています。」と返る。ゆっくり時間をかけての授乳、親子で休憩、おむつ替えでさっぱり、ルームを出るときの笑顔がステキです。

赤十字ひろばボランティアに参加して

安佐北区口田女性会 中平 吉子
フラワーフェスティバル中の5日に参加。ひろばには赤十字事業紹介パネル、ミニ講習、救護服試着コーナー、パズルコーナーなど盛り沢山で、試着コーナーでの写真プレゼントは大盛況でした。

赤十字について

●創設者 アンリーデュナン(スイス)は1859年イタリア統一戦争時、不眠不休の救護活動をされ、国際的救護団体の創設の必要性を痛感されました。

●赤十字標章(マーク)の意味

- 1.「保護の標章」 戦時に攻撃してはならない。
 - 2.「表示の標章」 赤十字社に所属していることを表す
- 現在世界で使用されているのは、赤十字・赤新月・レッドクリスタルで、いずれも白地に赤と決められています。

新 市女連副会長紹介



中区女性会会長 好木 恭江

今年度は、指定都市研究会が広島で行われます。大きな行事の当たる年に副会長を受け、責任の重さに身の引き締まる思いでいっぱいです。みなさんの足を引っ張ることの無いよう勤めさせていただきます、

成功させなければならないと思います。

さて、市女連も高齢化が進み若い会員に参加してもらうためには、魅力ある行事を行い引き継ぎが出来るような体制にし、努めていかなければならないと思います。又、単位女性会・区女性会のパイプ役として力を入れ、微力ではございますが、お役にたちたいと思います。



きょうちくとう



【編集・発行】 広島市地域女性団体連絡協議会 〒730-0052 広島市中区千田町1-9-43
【発行責任者】 吉岡 恭子 電話(082)243-3274 FAX(082)243-3270
【編集・担当】 安佐北区女性会 ホームページ: <http://cyberbb.com/hjd/>

新年度に願う！

広島市女連会長

吉岡 恭子



平成24年度、引き続き会長を受けさせていただくことになりました。皆様のお力添えをいただきながら、重責を全うして参る所存でございますので、よろしくご協力申し上げます。

近年、個々の思いが多様化する中で、団体として活動していくことが大変難しい時期で

あると感じておりますがそういう時だからこそ、皆様と共に充分話し合いながら知恵を出し合い、助け合う時だと思っております。この一年、皆様の忌憚のないご意見をいただき、充実した女性会活動になるよう努力していきたいと思っております。

皆様のご協力を切にお願いいたします。

平成24年度 各区会長あいさつ

中区女性会会長 好木 恭江

中区女性会は、単位女性会の協力のもとで、活動しています。又、行政と連携をとりながら中区独自の行事を行い、会員に親しまれる女性会でありたいとおもいます。また、3委員会の活動を行いながら、各単位女性会からの意見に耳を傾け新たな気持ちで、24年度をスタートしたいと思います。

東区女性会会長 西田 志都枝

遅い春の花が咲き、ほっと明るくなり、空気のあるように、花は咲いてくれる。花はだれと約束をするのでしょうか？虫と？小鳥と？人と？約束を果たせなかった淋しさを私たちは忘れてないでしょうか。

女性会は、何を伝えなければならないのかと自分自身の中の約束を考えてゆく一年になるのではと思います。共に在ることを嬉しく思える一年にいたしましょう。

西区女性会会長 菅原 和子

【川風 潮風 緑の風】

西区女性会は 市女連の3テーマを元に4単位で地域活動を会員と共に取り組んでいます。高齢化社会での福祉活動・生ごみ処理はEM菌のお世話になり環境浄化に役立っています。

次世代もさわやかであり続けることを願っての活動に取り組んでまいりたいと思います。

安佐南区女性会会長 龍本 壽美子

区女連は、社会教育関係団体として、女性の地位向上と地域活動に貢献し、会員の親睦をはかり会員の高齢化が進む中声掛けや、助け合う女性会を願っています。また、昨年より「さわやかあいさつ運動」に取り組み、「おはよう」と笑顔いっぱいの子どもたちとのふれあい活動をしています。

皆様のご協力をよろしくお願い致します。

安佐北区女性会会長 吉岡 恭子

安佐北区女性会は、今まで会員の親睦を図ることを目的としてきましたが、今年度からは5年先、10年先を見据えて地域に根差した活動と地域を支える女性会を目指します。そのために、市女連の活動に沿って、平和活動、環境問題、男女共同参画推進、青少年育成問題。

子育て支援に加え、地域福祉など学習、実践をして参ります。安佐北区の地域力に貢献致します。

佐伯区女性会会長 林 敬子

平成24年度は地域での、人と人とのつながりが薄れ、家庭や地域で支えあう機能が低下している中、昨年の大震災等で、地域の「絆」の大切さが再認識されています。

私達女性会は常に地域に密着した活動を続けて、今一度、地域を見つめ直し、多くの会員増加に心がけて、地域課題の解決に努力し次世代に繋げる活動を各単位会長を中心に会員と共に続けてまいりたいと思っております。

全国指定都市地域女性団体連絡協議会研究集会

日時 平成 24 年 6 月 7 日(木)・8 日(金)
場所 リーガロイヤルホテル広島

本研究集会では地域女性団体と関係行政との協働により、環境問題、男女共同参画推進、青少年と家庭教育の問題等、大都市に共通するさまざまな課題に対して各都市での取り組みを報告し合い、研究協議してまいります。今年度開催は広島市が担当となって

おり、吉岡会長を中心に準備を進めております。

当日は、3つの分科会に分かれ、参加した各都市がテーマに添って討論します。そこで広島市は、市女連の充実した3委員会活動を元に発表いたします。

第1分科会 環境型社会の構築

テーマ：脱地球温暖化

～日々の生活をどう見直すか～

●取り組みの具体例

- ① 環境家計簿の継続
- ② 生ゴミの堆肥化の実現

●結果実績

- ① 今年度で2年目
- ② 生ゴミ減量の意識向上

●今後の課題

- ① CO₂-6%を重ねていく
- ② 乾燥生ゴミと野菜の交換を広島市全体に広めたい

第2分科会 男女共同参画社会の実現

テーマ：男女の個性と能力を伸ばせる地域づくり

●取り組みの具体例

- ① DV問題について
- ② 地域における女性の位置づけ調査継続

●結果実績

- ① なでしこ募金の定着
- ② 女性の参加の向上がみえる

●今後の課題

- ① 被害者への声かけ、援助、手助けの必要性
- ② 男女共同参画推進の正しい理解

第3分科会 子育て支援・次世代育成

テーマ：児童虐待が起こる社会的背景と親の支援

●取り組みの具体例

- ① 児童虐待防止について研修会及び勉強会

●結果実績

- ① 関連機関への連絡
- ② 早期発見、早期対応の大切さ
- ③ 親の支援
- ④ 子どもたちの生活環境の理解

●今後の課題

- ① 関心を高める
- ② 地域社会と関係機関との連携

研究集会 2 日間の日程

1 日目

- 13:00～ 開会行事
- 13:40～ 基調講演
講師 湯崎 英彦氏
- 15:00～ 分科会
- 18:00～ 交流会

2 日目

- 9:30～ 分科会
- 12:00～ 昼食
- 13:00～ 分科会報告
- 14:30～ 指定都市環境家計簿報告
- 14:45～ 指定都市宣言
- 14:50～ 文部科学省講評
- 15:20～ 閉会行事
- 15:30～ 解散

五本の活動

西区南観音女性会 月村 佳子

1. 地域内のボランティア

地域内身体障害者施設もみじ作業所夢トピア折りずる作業所等のイベントへ参加しています。

2. 町内会・学校・公民館・諸団体の行事へ参加。

- ・小学校1年生の「昔あそび」
- ・中学校の調理実習補助員(エプロンおばさんとしてのお手伝いはとても楽しいです。)

3. 「ふだん着のお茶会」

女性として忙しい日々、ホッと一息しませんかとお茶会をします。点心は役員の手作りでとてもおいしいです。

4. 地域(公民館)と女性会の交流研修旅行

旅で人の心は安らぎます。

5. 女性会主催の講演会と音楽会

人の話は参考になる道しるべとなり、素敵な曲は心を豊かにしてくれます。

諸行事を通して人として、母として、妻として、豊かな心で一日一日過ごせるよう努力してゆこうと思います。

楽しく学び・楽しく遊ぶ

東区福木女性会 亘 澤子

私たちの地区は東区が一番北に位置し、森林公園や緑化センターの入り口になっています。田んぼや畑もまだまだたくさん残っており、野菜の朝市なども盛んです。このような中、女性会の役割も多く、地域と連携しての活動もたくさんあります。

地元の福祉施設での定期的なボランティアや二つの公民館での子供たちとのふれあい、老人会や体協の行事手伝い等々……

私たちの会は“楽しく学び・楽しく遊ぶ”を心がけており、年に一度のグラウンドゴルフ大会や、県内の会社を見学する研修旅行にはいつも多くの参加があり会員のふれあいの一日になっています。

これからも会員や時代のニーズに合った活動をしていきたいと思っています。

防災訓練を経験して

安佐南区祇園女性会 角田綾子

常日頃から災害が起こった時のために「自助の力」と「共助の力」を大切に、そしてそれが「減災」に結びつくようにと、防災訓練を行いました。各家庭で災害から身を守るために日頃の蓄え、早めの避難を心がけるよう確認しました。

いざという時に、女性会の持つ力が発揮できるよう地域に根差した活動を繋げていこうと改め、強く思えた防災訓練でした。

いつも笑顔でみんなのために

安佐北区可部南女性会 山西 幸子

私達は環境問題に取り組む中、アルミ缶回収を始めて12年、古紙は7年になりました。収益金は女性会活動と、地域に還元。車椅子18台、座椅子140脚他、寄付金等、贈呈が出来ました。「花ボランティア」も、13年。種蒔きから苗育て、区役所や小学校、安佐市民病院等10ヶ所に皆で花を咲かせています。又、ひとり暮らしの方々に、まごころ弁当を毎年、200食余り届けて、喜ばれています。文教高校生とのふれあい料理、子育てサロンのお手伝いで可愛い笑顔に癒されています。これからも、エコして得してボランティア!「笑顔広がるまちづくり」をめざしてまいります。

地域との触れ合い

中区千田女性会 安藤 幸美

千田女性会は千田小学校児童館で、地区社会福祉協議会、民生児童委員、母親クラブ、老人会共催のもと、毎月第三金曜日乳幼児とその保護者の方のお世話をさせていただいております。まず「おはようございます」の挨拶で始まり、体重・身長測定をします。お母様の「大きくなったね」の嬉しそうな声に、私達も嬉しくなります。背中に名前を書いて貼って貰った子供たちは玩具を出して遊ぶ子・指遊びをする子・それぞれです。それからボランティアの方の絵本の読み聞かせに、目を輝かせて夢中になって聴いています。最後に皆でお片付けをして、「バイバイ」と手を振ってお別れをします。

50年前の子育てを懐かしく思い出し、地域の小さな触れ合いで、お母様方の相談相手に少しでもなればと思っています。

地産・地消の活動

佐伯区水内女性会 東 敬子

会員が育てた、ミニク・玉ねぎを使った「焼肉のタレ」とじっくり仕込んだ「手作りみそ」の作り方講習会を毎年開き、好評です。

湯来町では古くからこんにやく芋を育て「手作りこんにやく」が食されていました。そこで今一度、産地復活を目指し、芋の栽培を教える「こんにやく学校」が4年前からひらかれています。湯来交流体験センターでは、私たち地域の女性が指導者となり、「手作りこんにやく体験」が出来ます。

湯来ロッジでは、地域の食材を生かしたメニューを取り入れたり、公民館・農業改善センターの行事へも組み入れ、行政と住民が力を合わせて、地域の活性化・地産・地消の活動に頑張っているところです。

「湯来へ来てみんな、水は清く自然豊かなええところじゃけん」待ってます!